

北野第二団地の沿革

私達が第二の故郷として、求めた豊平区北野は明治20年頃開拓のため入植された。福井県や富山県出身者が多い様である。厚別川の氾濫に悩まされながら、水田・稲作に励んでこられた。

北野の地名は、旧国道36号線を境に南側（清田）を厚別南通り、北側を厚別北通りと称していたが、昭和19年に改名され、北野〇〇番地となった（清田100年史によると、厚別の北に広々とひらけた原野と云う意味）。

★北野の地名に関し、京都に北野天満宮また、神戸市に風見鶏・異人館の多い地に北野天神があるのもおもしろい。此の地に電灯が灯ったと言うのも、戦後の21年と古老であり、市議を努められた田中南三氏の回顧談に出ている。当時の北野がご想像いただけると思うのである。

昭和40年以降東部開発の波に乗って、ご先祖の開拓地を決断されて北海道住宅供給公社に提供された、山崎武雄さん他10名の地主がおられる。

（村西鉄男氏、山崎武雄氏、春雄氏、実氏、義治氏、正雄氏、緑氏、正俊氏、藤原権次郎氏、赤松国雄氏、岩泉成作氏の各氏）

昭和46年から積立分譲方式で募集され、持ち家推進のためとしながらも、不正取得防止のため5年間の買い戻し条件つきであった。

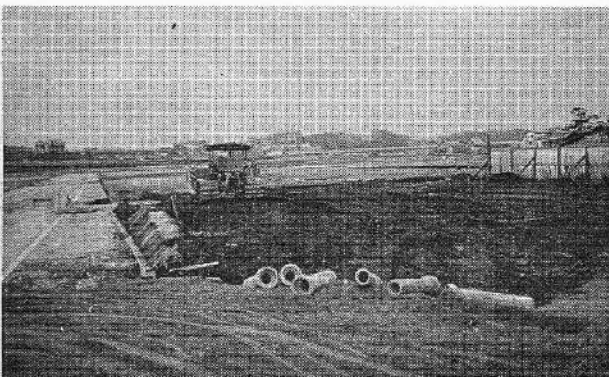
当時は、今を想像する事ができたでしょうか。交通不便は申すまでもなく、商店は1・2軒で主婦の方は毎日の買い物に大変だった。それだけに、第1年度、2年度共不人気であったと云える。

昭和47年第1年度入居者37戸、第2年度（昭和48年）127戸の入居で、人気が一躍上昇、第3年度（昭和49年）は、抽選によって、182戸が決定合計346戸となった北野第二団地の完成である。

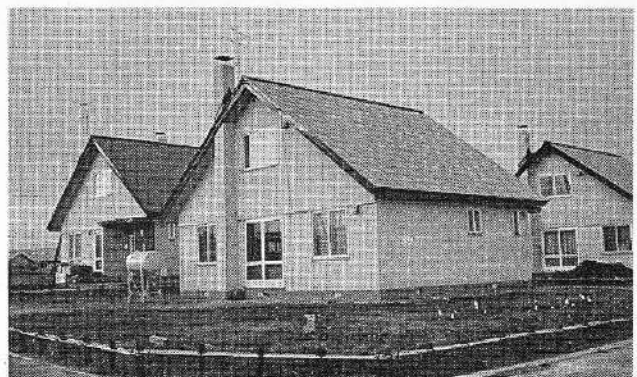
北野227番地〇〇と称したが、56年12月住居表示方式で北野〇条3丁目〇〇-〇〇と現在名となる。

昭和58年に至り柳瀬氏が、畑地を憐しんたくダイワハウスに開発委託され、現在の四区が誕生した。

組織世帯506、所属する北野地区町内会連合会内15単位町内会にあって第3位の規模である。



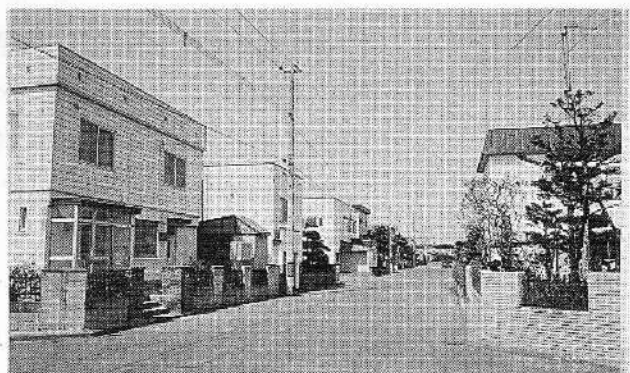
造成中（佐々木知子氏提供）



完成住宅（佐々木知子氏提供）



街なみ



移り変わる街なみ

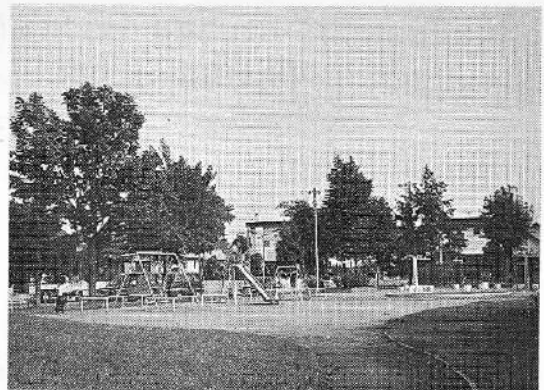
年 表

- 昭和48年11月 第2次入居者清野善吉氏により、自治会組織発足の呼びかけがなされた。
- 12月 旧山田商店二階貸室において、北野第二団地自治会が設立、初代会長に清野善吉氏を選出、その他役員は、別表の通り。
会費は、11月に逆上って、月額300円を徴収することとして、運営費確保を図る。早急に対処の必要が発生したのは、除雪であった。会費とは別に3,000円負担することも承認された。
- 49年3月 清田地区町内会連合会に加盟する。
赤十字社員加入運動に協力する。
札幌市街灯組合に加入する。
- 8月 会員親睦のため、盆踊り・運動会を計画、実施した。【つつじ公園】
- 12月 第3次入居者182名を迎え、活動開始後初の評議員会(総会)を開催。全役員その他、活動部門別に役員を選出した。本格的自治会活動の開始ともいえる。(別紙歴代役員名簿を参照)
- 50年3月 開校準備中の北野小学校が完成し、自治会役員及び有志が祝賀会に出席した。
(株)北海道中央バス(札幌支店)に増便、東北通南止まり、路線の延長要請を開始した。
(株)だいいち本社(月寒中央)に取得された商業地に、店舗を早期に開設かたお願いした。
- 8月 子供盆踊り、北野町内会と共催(北野小学校)、運動会(ひばり公園)実施。
- 12月 自治会旗制定(浜 正吉氏図案採用)
- 51年1月 宮本昌二氏、第2代会長に就任。
児童公園管理について、札幌市と委託契約をした。
現自治会規約成案なる。
(51. 11. 27より発効)
会計年度は翌年3月31日とする。
- 52年1月 成人を祝して、記念品を贈呈する。
- 4月 尾崎照夫氏第3代会長に就任。
事業年を暦年から行政年度に改める。
資源回収をはじめめる。
北野中学校落成、祝賀会に参加。
- 53年4月 松田 功氏第4代会長に就任。
団地内道路管理を札幌市に移管となる。
- 6月 ラジオ体操・マラソン開始【6月1日から9月30日】少年野球チームの結成なる。
子供会キャンプ(滝野自然公園)実施する。
- 8月 盆踊り北野町内会と共催。【コンシュマート広場】
- 11月 婦人部1円募金活動。
除雪費が不用となるが、特別会計に積立繰り越すこととした。
- 54年1月 53年度 優良衛生規範地区表彰を受ける。【札幌市長並びに、札幌市衛生協定会連合会会長より】



ひばり公園

- 昭和54年4月 三浦 強氏第5代会長に就任。
- 7月 数度にわたる準備委員会の議を得て、老人クラブ発足。【北野第二団地老人クラブ、初代会長に奈良巳之丈を選出】
- 8月 盆踊り発展の為四町【北野・北野新和・高橋マンション自治会】と共催。
北野第二団地として、会館設立を現四区内の河川敷を候補として、長岡市議を通じ陳情。また土木現業所と折衝するも実らず。
- 55年4月 峯 福太郎氏第6代会長に就任。
北野地区連絡協議会において、地区会館設立の協議が始まる。【地区住民負担金、規模等を含め】
婦人部活動【清幌園ボランティア】
- 8月 盆踊り【北野・北野新和・共栄互助自治会と共催】
- 56年4月 小原 学氏第7代会長に就任。
北野地区町内会連合会会館設立が決定。【豊平区北野連絡所併置】
自治会負担金、各戸3,000円と特別会計より701,897円、合計1,765,000円。
- 9月 雨天の為、運動会を中止した。
- 11月 56年度優良団体表彰【札幌市街灯組合連合会長】
- 12月 住居表示採用、現在となる。
- 57年4月 堀 光明氏第8代会長に就任。
- 8月 盆踊り【北野・北野まきば・共栄自治会と共催】
体育青少年部で遠足【農業試験場】
- 11月 北野会館落成祝賀会
- 12月 北野地区連合会館利用開始。
- 58年4月 浅利忠吉氏第9代会長に就任。
豊平区北野連絡所業務開始。
【初代所長藤江軍司氏】
北野地区町内会連合会発足。
【初代会長に遠藤三郎氏就任】
- 8月 体育青少年部で遠足【円山公園、動物園】 つつし公園
しんたくダイワ、入居者四区として、活動に参加。
街灯20ヶ所増設。2次として15灯増設。
- 10月 札幌北野六条郵便局開局。
諸般の事情から運動会を中止し、親睦見学旅行を計画。【定山溪、中山峠紅葉狩り定山溪ホテルで休憩】
- 59年4月 氏家慶喜氏第10代会長に就任。
新区分を4月から実施。
共同募金の個別募金を止め、自治会一括支出することとした。
- 60年4月 桜井 武氏第11代会長に就任。
計画業務の推進
- 61年4月 山崎藤夫氏第12代会長に就任。
計画業務の推進



つつし公園

昭和61年4月 厚別川架橋【対岸6条4】について、住民意向の集約。

62年4月 清野善吉氏再度第13代会長に就任。
会則一部改正【第20条の2、会費300円を400円に】

6月 街路灯改修43灯、遠藤電設KKと589,000円で契約。
自治会だより復刊。

63年4月 厚別川河川緑化工事施行される。【6、7条の一部】

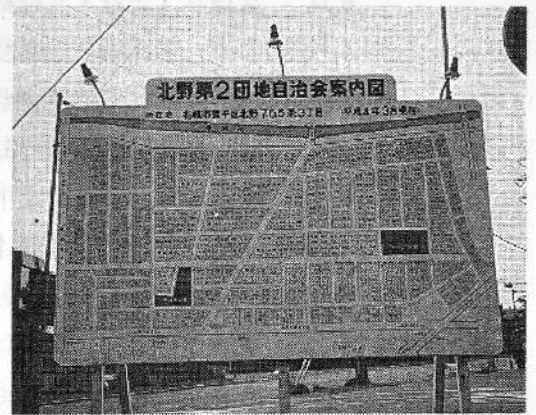
6月 厚別川対岸へ架橋工事始まる。
交通安全看板改修と配置替えを行う。
街路灯改修43灯、札木電設KKと589,000円で契約。

8月 四町共催盆踊り解散。【北野、まきば、共栄自治会】
自治会独自に子供盆踊りとする。

9月 街路灯追加改修25灯、札木電設KKと
374,000円で契約。

12月 北野ふれあいばし開通。

平成元年4月 高山康次氏第14代会長に就任。
生活安全対策部により、団地内街路
灯図作成。
団地案内板改修。【四区表示と照明を
設備する】



団地案内図

2年 自治会だよりに写真を取り入れる。

北野児童会館開設。

4月 豊平区、シンボル事業花ランド、モデル地区に指定される。
花ランド推進委員会設置。【委員長に及川光雄氏を委嘱する】
厚別川左岸通りに、花壇造成の支援を関係部局にお願いした。
北野ふれあいばし、橋下に水親ひろば工事始まる。

12月 水親ひろば完成。

3年4月 及川光雄氏第15代会長に就任。

福祉厚生部で生ごみ堆肥化と、ゴミの減量化のため【たふコンポ】を斡旋150個、各
地から注目称賛。

花ランド花壇作りと、1600株の花苗の助成を受け、植苗。

財政部として、余裕資金をMMC運用で金利益を図る。

水親広場で、従来のヤマメ放流が行われる。

8月 北野町連主催第1回北野ふれあい夏祭りに協賛する。

生活安全対策部、前年整理された街灯明細図に合わせた、街灯料金計算法と明細の
作成。

団地内40キロ交通標識追放、団地内すべて30キロとなる。

9月 札幌市から、資源回収団体に奨励金交付の発表があり、福祉厚生部で登録する。

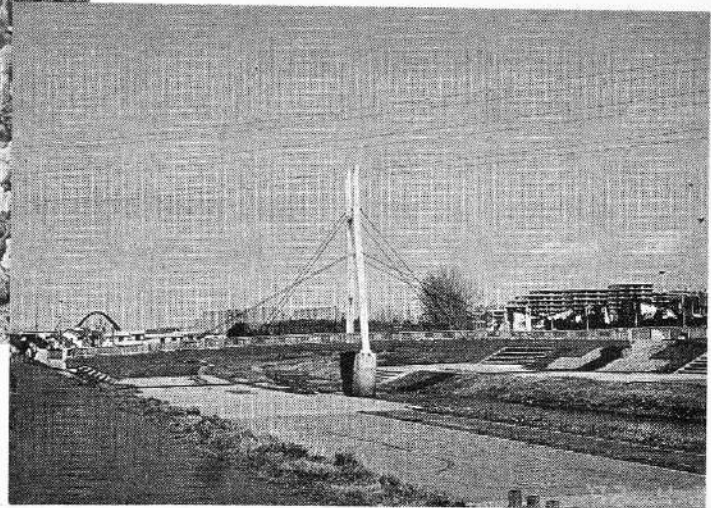
11月 平成3年度優良団体表彰【札幌市街灯組合連合会長】

12月 懸案の、ふれあいばし通りに、千鳥に街灯が灯る。

- 平成4年2月 懸案の団地内排雪を、市とのパートナーシップ方式で決定実施。【各戸負担金3,000円とし、不足分は、特別会計から補填】
- 4月 平成4年度予算で、一般会計から資源回収益金を特別会計に分離した。
【変動要素があり、会計事業のバランスを考える為】
- 9月 懸案の道路補修が5条の一部と、ひばり公園ベンチ3脚設置された。
- 10月 自治会活動20周年事業検討委員会、実行委員会設置。
- 5年1月 体育青少年対策部で、55年以降中止の成人者へ記念品を贈る。【継続される様引き継ぐ事とする】
- 7月 生活道路改修工事初年度【車歩道区分（7条3丁目一部）】
- 8月 懸案の道路補修が7条3丁目実施される。
花コンテスト優秀賞受賞【豊平区、とよひらHANA-LAND推進協議会】
- 9月 自治会20周年記念誌発行、配布。



花ランドモデル地区として



区の名所 北野のシンボル“ふれあい橋”



第1回北野町連主催北野ふれあい夏まつり協賛



活動のあしあと

総括

昭和48年第二次127戸の入居時（第1次既入居37戸）に、2区在住清野善吉氏の提起で自治会設立の準備に入り、12月に北野第二団地自治会として発足した。

会費月額300円の他に、除雪対策として別途3,000円を徴収して、交通確保を図る。

清田地区町内会連合会に加盟する。

昭和49年度入居者182名を迎え総勢346世帯の北野第二団地が完成した。

翌年、北野小学校が開校、任意で祝賀会に参加した。

昭和52年度から事業年度を行政年度に改正すると共に役員分担を整理統合し、また1区、2区組織を3区に再編成した。

昭和53年度から団地内道路管理が札幌市へ移管となる。従って除雪費の徴収を中止して、残金は積み立て繰り越しとした。

昭和55年度において、成人記念品の贈呈は中止される。（平成4年度復活する）

昭和57年度北野地区町内会連合会発足に伴う会館設立問題が発生数度にわたる協議の結果、北野連絡所併置で設立が決定。第2団地負担金の支出に当たっては、1世帯3,000円に加え除雪積み立て金を充当した。

昭和58年度北野地区町連発足。

柳瀬氏農地が(株)したくダイワハウスにより宅地造成がなされ、入居者が自治会に加入を決定して、4区として活動に参加。

昭和58年9月、前年まで続いた運動会が運営中止となり、見学親睦旅行に計画変更された。

昭和62年4月、自治会会費月400円に改定。（街灯改修のため）

厚別川に架橋が決定され、北野6条3丁目と対岸の6条4丁目に歩道橋として同年12月開通。（北野ふれいあばし）

昭和63年に自治会会館設立検討委員会を発足させ、細部にわたった検討を進めた（住民アンケートを含め）が設立は無理がある事で断念した。

豊平区花ランドモデル地区を受け、推進委員会を設置、（初代委員長及川光雄氏、2代目委員長畠山四郎氏、3代目高山康治氏）厚別川左岸通りに花壇造成を進めた。

平成2年度団地内生活道路排雪検討委員会を設けたが（委員長坂下新吉氏）アンケート集約の結果見送りとなる。

平成3年度において排雪の要望が強く、前年度の委員を含め再検討の結果市とのパートナーシップ方式で実施した。

平成4年度予算編成に当たり資源回収益金に加え市からの奨励金交付もあって特別会計とした。

評議委員会に排雪事業を継続する提案が承認された。

平成5年度には、自治会活動20周年の節目に当たり記念事業検討委員会（仮称）を設置提案、実行する事となった。

平成5年1月、成人となられた24名の方々に記念品を贈呈した。（継続事業とする）

自治会 会員の推移

第1次入居	昭和47年	池田賢一	37	37
第2次入居	48年11月	清野善吉	127	164
第3次入居	49年	〃	182	346
	50年	〃		〃
	51年	宮本昌二		〃
	52年	尾崎照夫		356
	53年	松田功		353
	54年	三浦強		〃
	55年	峯 福太郎		354
	56年	小原学		355
	57年	堀 光明		〃
しんたく加入	58年	浅利忠吉		458
	59年	桜井武		463
	60年	氏家慶喜		469
	61年	山崎藤夫		〃
	62年	清野善吉		〃
	63年	〃		492
	平成元年	高山康次		506
	2年	〃		508
	3年	及川光雄		508
4年	〃		508	
5年	〃		506	



入塚安山神秀千坂大
 江本齊下指業下田
 伊古河工 大 安 佐 井
 東田野藤 槻 部 々 出
 阿半堂及佐青
 部田田川藤木

平成5年度役員